

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 財団法人京都府国際センター

1 事業の趣旨・目的

京都府における日本語支援ボランティアに係る活動は日本語教室の有無やボランティアの数など、地域格差が大きい。地域において必要だと認識していても市町村や国際化協会はボランティア育成や養成などに取り組む余力がない場合が多い。

このような課題を解決するため、(財)京都府国際センターが中心となって、各地域で利用できるボランティア養成プログラムを作成し、運営については地域団体と協働で実施していくことで、持続的な地域の日本語支援ボランティアの養成に努める。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
4月23日	京都府国際センター	浜田麻里 大久保雅由 渡部真理 船戸潤子 近藤徳明	講座の概要について	・カリキュラムの検討 ・会場、定員について ・演習内容について
6月4日	文化パルク城陽	浜田麻里 花岡正義 大久保雅由 渡部真理 船戸潤子 近藤徳明	実習について	・実習の手順、進行について ・外国人学習者の確保について
7月16日	文化パルク城陽	浜田麻里 花岡正義 渡部真理 船戸潤子 近藤徳明	日本語教室立ち上げについて	・近隣日本語教室の現状紹介について ・ボランティア活用による今後の教室立ち上げについて
8月5日	京都府国際	浜田麻里	反省会	・アンケート結果報告

	センター	大久保雅由 渡部真理 船戸潤子 近藤徳明		・各委員の所感、意見交換 ・講座の評価
--	------	-------------------------------	--	------------------------

【写真】



3 養成講座の内容について

- (1) 講座名 地域における日本語支援ボランティア養成講座
- (2) 目標 在住外国人を支援するため、地域において活動する日本語支援ボランティアの養成を行う。
- (3) 受講者の総数 40 人
(出身・国籍別内訳 日本 40人)
- (4) 開催時間数(回数) 30 時間 (10 回)
- (5) 参加対象者の要件 受講終了後、日本語支援ボランティアとして地域で活動できる方
- (6) 受講者の募集方法
 - ・募集ちらし(地域国際化協会、大学、国際活動団体、日本語教室など)
 - ・広報誌(京都府、城陽市)
 - ・登録ボランティアへの DM
 - ・ホームページ
- (7) 会場 文化パーク城陽(城陽市寺田今堀 1 番地)
- (8) 使用した教材・リソース

みんなの日本語初級Ⅱ携帯用絵教材、みんなの日本語初級Ⅰ教え方の手引き、みんなの日本語初級Ⅱ教え方の手引き、みんなの日本語初級Ⅰ翻訳・文法解説英語版、みんなの日本語初級Ⅱ翻訳・文法解説英語版、みんなの日本語初級Ⅰ翻訳・文法解説中国語版、みんなの日本語初級Ⅱ翻訳・文法解説中国語版、日本語おしゃべりのたね、初級日本語文法と教え方のポイント、初級を教える人のための日本語文法ハンドブック、にほんごこれだけ!、にほんご宝船～教える人のための知恵袋～、にほんご宝船～いっしょに作る活動集～

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
5月28日 9:30～ 12:30	総論 ①在住外国人への 日本語支援活動で学 んだこと ②日本における外国 籍住民	①熊本市外国人児童生 徒日本語指導協力者 岩谷 美代子 ②全国市町村国際文化 研修所多文化共生コー ディネーター 時 光	39名
6月4日 9:30～ 12:30	総論 生活者のための日本 語教育	京都教育大学教授 浜田 麻里	35名
6月11日 9:30～ 12:30	演習① 災害・救急 ・て形をつかって ・い／な形容詞	宇治国際交流クラブ日本 語教室 渡部 真理	37名
6月18日 9:30～ 12:30	演習② 近所付き合 い・ごみの出し方など ・丁寧体と普通体 ・動詞の辞書形	京都にほんご Rings 佐藤 久子	36名
6月25日 9:30～ 12:30	演習③ 病院 ・た形／ない形 ・てもいいですか？	朋友館 西澤 悦子	37名
7月2日 9:30～ 12:30	演習④ 職場 ・可能形	(財)京都国際文化協会 廣瀬 和子	38名
7月9日 9:30～ 12:30	演習⑤ 学校 ・敬語 ・丁寧語	NPO 京都カルチャーサー クル代表 船戸 潤子	35名
7月16日 9:30～ 12:30	実習① 外国人学習者を迎え て	京都教育大学教授 浜田 麻里	36名
7月23日 9:30～ 12:30	実習② 外国人学習者を迎え て	NPO 京都カルチャーサー クル代表 船戸 潤子	32名

7月30日 9:30～ 12:30	まとめ ①ボランティア教室 の運営 ②ネットワーキング 「日本語支援から派 生する諸問題への対 応」	①NPO 京都カルチャー サークル代表 船戸 潤子 ②京都 YWCA APT 堀部 碧	34名
-------------------------	--	---	-----

(10) 講座の評価

①受講生に対するアンケート

講座修了後にアンケートを実施。アンケート結果は別紙。

②実施主体からの研修内容結果評価

- ・講座内容については概ね満足度が高く、この講座を契機にボランティア活動を予定している方も多数得られた。
- ・城陽市国際交流協会では今回の養成講座修了者を活用して日本語教室を今秋に新設する予定である。すでに準備会も開催されている状況にあり、今回の講座は教室立ち上げの支援に大きく貢献できた。
- ・今回の講座は府内日本語教室のネットワーク組織である京都にほんご Rings の協力を得て実施した。日本語教室のネットワーク組織が地域の日本語教室立ち上げを支援する仕組みは持続可能で循環型であるのに加え、ネットワーキングも同時に行うことができるので、今後の教室活動を展開していく上で非常によい形で提供できた。

③実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

多文化共生創出の場となり得る地域の日本語教室へは今回のようなボランティア養成講座や研修会などを通じて引き続き支援を続けていくとともに、府内全域の日本語教室ネットワークを確立できるよう努めていく。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- ・講座の企画や運営など府内日本語教室のネットワーク組織である京都にほんご Rings と協働して実施した。
- ・コーディネーター研修やリーダー研修などを実施することで、地域日本語教室の中心的役割を担える人材を育成する。
- ・受講者には日本語支援だけでなく、多文化共生や災害時支援など外国籍府民サポーターとして活躍してもらえるよう、各分野の講座や研修への参加を促す。

② 研修後の人材活用

受講者の多くは講座開催地である城陽市および近隣市町村の日本語教室で日本語支援ボランティアとして活動予定である。

(12) 今後の課題

城陽市ではこの講座を契機に日本語教室を新設する予定であるが、その手順や手法など立ち上げや運営のノウハウについては依然としてサポートが必要である。教室を設置する城陽市国際交流協会や企画・運営に協力いただいた京都にほんご Rings と連携して、教室の立ち上げを支援していきたい。

別紙

日本語支援ボランティア養成講座 アンケート結果

期間:平成 23 年 5 月 28 日～7 月 30 日

場所:文化パルク城陽

養成講座について

満足	21
やや満足	7
どちらでもない	1
やや不満	0
不満	0

満足度の理由

満足

- ・分かっているようで当たり前の知識を、他人や他の文化圏の人々に教える困難さが分かった
- ・ボランティア・講師とも熱心に交流し学び合えた
- ・日本語教育の難しさと基礎的なことが理解できた
- ・講師が丁寧で親切だった。よく分かった
- ・無料で多くのことを教えてもらった。これから役立てたい
- ・内容が充実していた。面白かった。具体的・実践的だった
- ・テーマ別で分かりやすかった
- ・グループで話し合い発表する流れがよかった
- ・日本語支援の重要性が理解できた
- ・皆勤したのが嬉しい。

やや満足

- ・豊富な内容だったが、まだまだ奥が深いので「やや満足」
- ・教授法を学んでいるという意識が持てなかった
- ・ペースが速い。消化しないうちに次の説明に移り、記憶に残らないものもあった
- ・現在の活動している人の様子が少し分かった
- ・取り組む姿勢を話してもらってよかったが、助詞・漢字の勉強の仕方も触れてほしかった

どちらでもない

- ・分かった時と分からなかった時がある

ボランティアとして活動する予定ですか

はい	22
----	----

いいえ	1
わからない	7

今後、研修会を希望されますか

希望する	24
希望しない	2

希望する研修内容

- ・もっと深い内容
- ・現講座の続編シリーズ
- ・同じ内容でもう一度
- ・伝え方・会話力・読解力アッププログラム
- ・レベルアップ講座、スキルアップ講座
- ・教科書を使った授業の仕方(流れ・時間配分など)
- ・レベルに応じた講座
- ・助詞・漢字の勉強法
- ・具体的な問題(教え方その他)の対応法
- ・支援する際の技術や関連事項
- ・実際の教室の実例、実践的な内容
- ・イベントや教材なしの自由会話
- ・日本文化の説明の仕方
- ・なんでも